

福島県立相馬高等学校創立119周年を迎えるにあたって ～創立記念日に寄せて～

1898(明治31)年3月20日の福島県告示第104号にて福島県第四尋常中学校が相馬郡中村町に設立されることが決定された。これによって入学志願者の受付が始まり、4月25日体格試験、26、27日学科試験が行われた。

4月29日に合格者の発表があり、5月1日に161名(120名の募集に対して)に入学許可を行い、5月7日に始業式を行った。中村高等小学校(現在の中村第一小学校の位置)の一部を仮校舎として、9日から授業が開始された。以上のことが『相中相高百年史』p29～30に記載されている。

ここに至って、本県の尋常中学校は、安積を第一、磐城を第二、福島を第三、相馬を第四のナンバーを冠して学校名称として、これに会津を加えた五校編成で発足した。その後、『中学校令』の改正や各中学校長から地域の名称を冠した中学校名への名称変更要望と文部省の認可を経て、1901(明治34)年4月27日から福島県立相馬中学校と名称が定まり、1947(昭和22)年まで用いられたのである。

5月7日の創立記念日は、まさに本校のスタートとなった日である。

今、相高生は勉学に、部活に、学校行事などに向き合っている。自分らしい生き方を探るために。自分自身の道を切り拓くために。そして、級友や社会と繋がっていくために。

本校からどんな人材を出すことができるのか。とても楽しみである一方、大きな責任も感じる。物事を表面的でなく、深く本質を捉え、考え、行動できる人間がこれからの社会で大きな役割を果たすと考えられる。一つ一つのことに向き合い、物事の根源に迫りゆくそんな相高生を夢見ている。鍛えよ体を、鍛えよ心を。そして豊かな人間性を兼ね備えよ。旧き価値を大切に、新しい風にも敏感な相高生であれ。

平成29年4月28日(金)
校長 長田 公雄